

令和6年度 第3回 伊佐見小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年12月11日（水） 9時10分から11時00分まで
- 2 開催場所 伊佐見小学校 会議室
- 3 出席委員 伊代田 尚志（学校支援コーディネーター兼任）、古橋 廣一、嶋野 直輝（学校支援コーディネーター兼任）、中村 勝信、小粥 裕理、池谷 莊一、塚本 昌代、西尾 純
- 4 欠席委員 村上 久美子（学校支援コーディネーター兼任）、袴田 則司
- 5 オブザーバー 伊佐見協働センター
- 6 学 校 高須 祥郎（校長）、米山 由紀子（教頭）、川合 弘志（教務主任）、澤木 美加（CS担当教諭）、間渕 仁美（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 間渕 仁美
- 9 議長の選出

第1回学校運営協議会での決定通り、古橋委員が議長を務めることを確認した。

10 協議事項

《2学期の様子と来年度に向けて》 ～学校評価アンケートをもとに～
みんなが「大好き！」な伊佐見小学校を目指して

11 会議記録

《2学期の様子と来年度に向けて》 ～学校評価アンケートをもとに～
みんなが「大好き！」な伊佐見小学校を目指して

川合教務主任より、2学期のアンケート結果について説明があった。その中の、児童への「伊佐見小学校に楽しく通っている」という質問で、約1割の児童が「あまりそう思わない」または「全くそう思わない」と回答したとの結果に注目し、みんなが楽しく学校に通えるために大切にしたいことについて3グループに分かれて熟議し、意見を発表した。

【A グループ：伊代田会長、小粥委員、塚本委員、澤木教諭】

- ・根本的に集団生活が苦手な子もいるので、そのような子には個別の部屋を設けるなどして対応する。個別の部屋に入っても、給食などのタイミングで友達が迎えに来てくれれば、教室に入りやすいのではないか。しかし、そのような部屋を設けないほうがよいのではないかという意見もある。
- ・個別に対応するとしても人手が足りていない。
- ・最近の子供は強く叱られることが少なく、叱られ慣れていないのではないか。
- ・保護者がボランティアなどで学校に来る姿が、良いきっかけになるかもしれない。
- ・今は子供たちも様々な情報を手に入れることができ、生き方もいろいろであると分かっている。そのような状況で100%を目指すのは難しく、90%を超えていれば良いのではないか。
- ・市の民生児童委員の研修でも、不登校の問題は家庭環境や学校などいろいろな原因がからみあっており、子供自身も原因が分からない、と言っていた。

【B グループ：古橋副会長、中村委員、オブザーバー、川合教務主任】

- ・高学年になると、勉強が苦手、先生が嫌い・・・などとなるので、低学年のうちから学校が好きな子に育てていく。
- ・先生が何かその子の得意分野など取っ掛かりとなるものを見つけてあげ、ほかの子と仲良くできるように「仲人」役をする。

【C グループ：嶋野委員、池谷委員、西尾委員、米山教頭】

- ・学校に行きたくないというのは難しい問題で、原因はそれぞれの子供に聞くしかない。クラスによっては二者面談などを実施している。
- ・まずは、問題を解決させるところまでいかなくても、話を聞くだけでもいい。
- ・無理に聞き出そうとせず、回数を重ねて、理由が少しでも判明すればいい。

12 報 告 事 項

ボランティア活動計画について

澤木教諭と嶋野コーディネーターより2学期のボランティア活動の報告と12月のイベントの説明があった。

13 連 絡 事 項

米山教頭より、次回会議は2025年2月14日（金）午前9時10分から会議室で開催する旨の報告があった。